

第4号議案

令和7年度公益財団法人山梨県国際交流協会 事業報告

事業概要

令和5年4月の県立国際交流・多文化共生センター内への事務所移転を機に充実強化した多文化共生の社会づくりに関する事業を継続するとともに、社会情勢の変化を踏まえつつ、関係団体と連携・協働しながら、地域レベルの国際化を推進する中核的な組織として、国際交流、国際協力、国際理解など様々な事業を展開した。

事業実施状況

1 会議開催状況

- (1) 理事会 3回 令和7年6月5日、6月24日、令和8年3月26日
- (2) 評議員会 1回 令和7年6月24日

2 多文化共生の社会づくりに関する事業

(1) 情報収集提供事業

① 国際交流・多文化共生情報発信強化事業

- ・ 協会主催事業をはじめ、外国人住民の生活に役立つ情報や、様々な国際交流情報をやさしい日本語や多言語で発信するホームページの管理・運営を行った。
- ・ 当協会からの情報提供をはじめ、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する有益な情報を収集し、SNS (Facebook、Instagram) やHPで情報発信した。
- ・ 山梨日日新聞に毎月2回(第2、第4水曜日)、「山梨県国際交流協会ニュース」及び「やさしい日本語」による多文化共生等に関するコラムを掲載した。
- ・ 当協会事業等を広報するため、報道機関に情報提供を行った。

② 国際関係書籍等の整備

国際的な分野での活動等に関心を持つ県民のニーズに応えるため、国際交流、国際協力、日本語教材、留学、多文化共生等の書籍等を整備し、閲覧に供した。

- ・ 場 所: 国際交流・多文化共生センター 1階「書籍コーナー」

③ 協会機関誌「YIA Newsletter」の発行

- ・ 発行回数: 2回(6月、2月)
- ・ 発行部数: 2,000部/回
- ・ 配布先: 会員、各市町村、国際交流関係団体、ハローワーク、各大学、各警察署等

(2) 相談事業

① やまなし外国人相談支援センターの運営

ア 相談窓口の運営等

県内に在留する外国人や外国人を雇用する企業に対し、情報提供や相談対応を行う窓口の運営を行い、窓口には在留資格の専門家である行政書士をアドバイザーとして週3日配置した。

- ・ 実施日時: 火曜日～土曜日(祝日及び12月29日～1月3日は除く。) 9:00～17:00
- ・ 実施場所: 国際交流・多文化共生センター内
- ・ 対応言語: 11言語以上(日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・タガログ語
インドネシア語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語等)

- ・ 相談件数: 1,293件

イ 無料法律相談の開催

外国人住民等を対象に、弁護士による生活や労働問題などに関する無料相談会を開催した。

- ・ 実施日:第1水曜日(夜)、第3土曜日(昼)
- ・ 実施場所:国際交流・多文化共生センター 研修室
- ・ 相談件数:51件

ウ 外国人支援・外国人材活用等に関する研修会の開催

- ・ 開催日:9月26日(金)、11月28日(金)、2月10日(火)
- ・ 開催方法:オンライン

② 外国人地域生活サポーター設置事業

県内在住の外国人住民に対し、言葉だけでなく、文化、慣習、宗教などの背景や違いを尊重し理解するとともに、日常生活に関する相談対応や情報提供を行い、適切な行政サービスの利用をサポートできる地域の身近な支援員として、「外国人地域生活サポーター」を設置し、管理運営を行った。

ア サポーターの選定(委嘱は県)

イ サポーター事業の管理運営

- ・ 登録者数:23名
- ・ 相談・同行件数:442件
- ・ 情報提供件数:1,048件

ウ 研修会・意見交換会の開催

- ・ 開催日:8月30日(土)
- ・ 開催場所:びゅあ総合 中研修室
- ・ テーマ:コミュニティ通訳(サポーター)の心構えと基礎知識

(3) 人材育成事業

① 国際交流・多文化共生人材バンクの運営

市町村や団体からの国際交流や国際理解、多文化共生などに関する様々な依頼に応じ、外国語人材、国際交流・国際協力人材、多文化共生支援人材に関するボランティアの登録とその利用に伴う連絡調整を行った。

- ・ 登録者数:175名
- ・ 利用件数:16件(延べ22名)

(4) 多文化共生推進事業

① 地域日本語教育推進事業

県内に在留する外国人に対し、日常生活を営む上で必要となる日本語能力を習得できる環境の整備を進めた。

ア 総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置

イ 生活に関する日本語教育プログラムの開発

ウ 日本語学習支援者(パートナー)研修会の開催

- ・ 開催時期:7~1月(5回)
- ・ 修了者数:81名

エ 市町村日本語教室の運営支援

- ・ 実施市町村:山梨市、笛吹市、北杜市、大月市、南アルプス市、甲府市、韮崎市、上野原市、富士河口湖町

オ オンライン初期日本語教室の試行

- ・ 実施時期:1~3月(26回)
- ・ 参加者数:22名

カ 日本語教師育成研修の開催

- ・ 開催時期:11月~3月(6回)

- ・ 参加者数:7名
- ② 市町村日本語教室の運営
- 市町村が開催する日本語教室の運営を市町村と協働で行った。
- ・ 実施市町村:山梨市、笛吹市、北杜市、大月市、南アルプス市、甲府市、韮崎市、上野原市
- ア 学習者募集活動
- イ 日本語教室カリキュラムの策定
- ウ 日本語教室の開催
- エ 日本語教室参加者(学習者、パートナー)に対する教室評価調査
- ③ 災害時外国人支援体制強化事業
- 災害時における外国人の安全・安心を確保するための取り組みを行った。
- ア 外国人住民向け防災教室の開催
- ・ 開催回数:3回
 - ・ 開催場所:韮崎市日本語教室、山梨県立大学、アルプス学園
 - ・ 参加者数:72名
 - ・ 開催内容:災害に備える講話(災害の基礎知識と発災時の行動、情報収集等)
非常食の試食、非常持出し袋の確認、非常用トイレ体験、起震車体験 など
- イ 災害時外国人支援セミナーの開催
- ・ 開催日:10月24日(金)
 - ・ 開催場所:びゅあ総合 中研修室
 - ・ 参加者数:8ヶ国35名
 - ・ 開催内容:講演「災害時における外国人支援とやさしい日本語」
災害多言語支援センター設置・運営シミュレーション
- ④ 多文化共生地域づくり推進事業
- 多文化共生の地域づくりに不可欠な「やさしい日本語」の普及とスキル向上のためのセミナーを、「行政窓口編」と「教育現場編」の2回に分けて開催した。
- ア 「窓口対応のための やさしい日本語セミナー」
- ・ 開催日:9月4日(木)
 - ・ 開催方法:オンライン
 - ・ 受講者数:40名(外国人住民の窓口対応に携わる自治体職員等)
- イ 「やさしい日本語セミナー(学校現場編)」
- ・ 実施日:9月25日(木)
 - ・ 開催場所:山梨県総合教育センター
 - ・ 受講者数:26名(日本語指導担当教員等)
- ⑤ 民間団体との連携事業
- 国際交流や国際協力、多文化共生活動を行っている団体間の緩やかな連携を図るための「やまなし国際交流・多文化共生団体連絡会」で情報交換会を開催した。
- ・ 開催日:2月15日(日)
 - ・ 出席団体:11団体
 - ・ 開催内容:新規加入3団体の活動紹介・質疑応答
加入団体からの情報提供
山梨県国際交流協会からの情報提供
- ⑥ 多文化交流促進事業
- 外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の形成に向け、日本人住民の多文化共生意識の醸成と外国人住民の社会参加を促進するため、日本人住民と外国人住民との交流や異文化理解に資

するイベントやセミナーを開催した。

ア 地域異文化ふれあい広場の開催

外国人住民と地域住民と一緒に異文化にふれあいながら、お互いの文化に対する理解を深めるために、「地域異文化ふれあい広場」を計5回開催した。

- ・「一緒にゴミ拾いしませんか。」(5月18日) 参加者数:31名
- ・「インドネシアへの招待 INVITATION TO INDONESIA」(6月28日) 参加者数:21名
- ・「世界の遊び」(8月2日) 参加者数:41名
- ・「日本人・外国人ママ・パパ交流会」(9月6日) 参加者数:21名
- ・「歩く×話す」(12月20日) 参加者数:27名

イ 県民の日記念行事でのブース出展

- ・実施日:11月16日(日)
- ・実施会場:小瀬スポーツ公園
- ・来場者数:約200名
- ・実施内容:タイのお守り(プラータピアンサーン)作り、「世界の遊び」体験等

ウ 甲府えびす講祭りのみこし渡御への外国人住民の参加と多文化交流イベントの実施

- ・実施日:11月23日(祝)
- ・実施会場:県庁噴水広場、防災新館やまなしプラザ
- ・参加者数:神輿渡御12ヶ国21名 一般来場者約300人
- ・イベント内容:外国人日本語スピーチコンテスト、多文化ステージ・マーケット等

エ 「反うわさ戦略」研修会の開催

偏見やステレオタイプに基づく否定的な「うわさ」を減らしながら、誰もが暮らしやすい社会をつくるための取り組み「反うわさ戦略」をテーマとした研修会を開催した。

- ・開催日:7月31日(木)
- ・開催場所:ぴゅあ総合 中研修室
- ・開催内容:第1部「反うわさ戦略」の実践ワークショップ 第2部「反うわさ戦略」について学ぶ
- ・参加者数:48名

3 国際交流に関する事業

(1) 国際親善交流事業

① 姉妹友好地域交流促進事業

本県と姉妹友好関係にある地域との交流深化に向けた取り組みを行った。

- ・笛吹高校生とベトナム・クアンチ省の高校生の交流(10/11,12)に協力
- ・山梨学院短期大学「異文化コミュニケーション」講座(10/17)で姉妹友好地域を紹介
- ・河口湖南中学校で四川省について出前授業を実施(11/12,12/10)
- ・県民の日記念行事(11/16)の多文化交流ブースで姉妹友好地域の紹介パネルを展示
- ・多文化交流ひろば in 甲府えびす講祭り(11/23)で姉妹友好地域の紹介パネルを展示
- ・ぴゅあフェスティバル(12/13,14)で姉妹友好地域の紹介パネルを展示

② やまなし国際フェスタ開催事業

国際交流・国際協力・多文化共生・男女共同参画などの分野を越え、「山梨において多様性を認め合い、誰もが自分らしく暮らせる山梨」を基本テーマに、「男女共同参画×多文化共生ぴゅあフェスティバル2025」を開催した。

ア 「ぴゅあフェスティバル2025」の開催

- ・開催日:12月13日(土)～14日(日)
- ・開催場所:男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)、国際交流・多文化共生センター

- ・ 共 催:公益財団法人やまなし文化学習協会
- ・ 開催内容:
 - 講演「家事分担、育児、働き方、生き方。－パートナーとジェンダーロールに縛られることなく自分らしく生きるためのヒント－」 講師:イラストエッセイスト 犬山 紙子さん
 - 姉妹友好地域紹介パネル展示、国際協力ブース出展、やさしい日本語の紹介
 - 子どもたちの歌、ブラジルの踊り「カリンボ」、ラテンダンス、インドネシア伝統舞踊
 - ぴゅあマルシェ、多国籍キッチンカー 等
- ・ 参加者数:859名

(2) 国際交流推進事業

① 国際交流・多文化共生センターの運営

「県立国際交流・多文化共生センター」の運營業務を行い、県民に国際交流・国際協力に関する活動や、外国人住民が地域社会の構成員として共に生きていくことができる環境の整備(多文化共生の社会づくり)に関する活動の機会と場を提供した。

- ・ 日本語教材を集めた書架を設置し、外国人住民や日本語学習支援者等に貸出
- ・ 「研修室」において協会が企画運営する異文化理解講座などを開催
- ・ 「国際交流ゾーン」に国際交流、国際協力、多文化共生に関する冊子・チラシなどを配架、姉妹友好地域やJICAのポスター・パネルを掲示

② 市町村国際交流協会等連絡会の開催

ア 連絡会の開催

県内市町村並びに市町村国際交流協会の情報交換やネットワーク構築、国際交流・多文化共生施策の推進を図るため、連絡会及び研修会を開催した。

- ・ 開催日:7月31日(火)
- ・ 開催場所:ぴゅあ総合 中研修室

4 国際協力に関する事業

(1) 国際協力推進事業

① 国際協力普及啓発事業

県民の国際協力への理解を深め、新たな人材育成を図るため、セミナー等の開催や県民が開催する国際理解教育等の場に専門家等を派遣し、国際協力について学ぶ場と機会を提供した。

ア 国際協力セミナー「パレスチナのことを知ろう 映画上映会&トークイベント」

- ・ 開催日:7月6日(日)
- ・ 開催場所:ぴゅあ総合 中研修室
- ・ 開催内容:映画『私は憎まない』上映と日本国際ボランティアセンター職員によるトーク
- ・ 参加者数:48名

イ 国際協力セミナー「世界の災害現場で働くということ

－国際緊急援助隊に学ぶ専門性とチームの力－

- ・ 開催日:12月18日(木)
- ・ 開催方法:オンライン
- ・ 講師:埼玉医科大学総合医療センター看護師 増田由美子さん
JICA 国際緊急援助隊事務局職員 橋本典枝さん
- ・ 参加者数:43名

ウ 国際協力理解教育促進事業の実施

- ・ 派遣件数:9件
- ・ 派遣者:JICA 海外協力隊員(現役・OV)、国際協力推進員

- ・ 派遣先: 県内小中学校、専門学校、大学など

② グローバル支援事業

国際的な支援活動を行う団体等への寄付を通じて、開発途上国の教育や医療レベルの向上、激甚災害等により被災した地域の人々の支援などに役立てる(令和7年度は実績なし)。

5 国際理解に関する事業

(1) 国際理解促進事業

① グローバルマインド養成事業

県民のグローバルマインドを養成するため、各種講座の開催や県民が開催する国際理解教育等の場に専門家等の派遣を行い、海外の文化、習慣、歴史について学ぶ場と機会を提供した。

ア 異文化理解講座の開催

- ・ 開催回数: 7回
- ・ 参加者数: 延べ88名
- ・ 開催内容: 「ベトナム料理～バインゴイ～、ブラジル料理～パステウ～」
「イタリア料理～トマトクリームのリゾット～」
「ニュージーランドの学校生活を知る」
「中国墨彩画体験」(全2回)
「ハラールフードを学ぼう！」
「Asian Identity & Racial Discrimination」

- ・ 開催場所: 国際交流・多文化共生センター 研修室等

イ 国際理解教育促進支援事業の実施

- ・ 派遣件数: 9件
- ・ 派遣者: 県国際交流員(CIR)
- ・ 派遣先: 県内小中学校、市町村国際交流協会、国際交流団体など

② 国際交流・国際理解のための高校生の主張大会

国際交流、国際協力に対する理解促進を目的として、高校生による弁論大会を山梨県高等学校ユネスコ連絡協議会との共催により開催した。

- ・ 開催日: 9月13日(木)
- ・ 開催場所: 県立図書館 多目的ホール
- ・ 発表者数: 27名